

News Release

五輪メダリスト 朝原 宣治 日本マスターズ陸上競技連合 会長に就任 ～生涯スポーツのさらなる推進に向け新体制を発足～

日本マスターズ陸上競技連合は、2026 年 6 月 11 日開催の理事会において、朝原 宣治を新会長に選任したことを発表いたします。

新体制のもと、当連合は、陸上競技の普及ならびに生涯スポーツとしての価値向上に一層取り組んでまいります。

朝原 宣治は、男子 4×100m リレーにおいてオリンピックメダリストとして活躍するなど、日本陸上界を代表する選手の一人です。引退後は指導者および普及活動に幅広く携わり、トップレベル競技から地域スポーツに至るまで多大な貢献をしてまいりました。

人生 100 年時代を背景に、健康増進や生涯スポーツへの関心が高まる中で、マスターズ陸上の役割は一層重要性を増しています。

当連合では、「健康づくり」「仲間づくり」「地域活性」を軸に、参加価値のさらなる向上と、誰もが参加しやすい競技環境の整備を推進してまいります。

新体制においては、以下の施策を重点的に実施します。



新会長 朝原 宣治

- ・ 生涯スポーツとしての陸上競技の全国的な普及促進
- ・ 安全で参加しやすい大会運営体制の強化
- ・ 若年層からシニア層までの連続性を意識した競技環境の整備
- ・ 地域コミュニティと連携した活動の推進および国際交流の拡大

■朝原新会長からのコメント

「年齢に関係なく挑戦できるマスターズ陸上の魅力を、社会全体に広げていきたいと考えています。競技の枠を超え、健康づくりや交流の場として、多くの方に参加いただける環境づくりに尽力してまいります。」

なお、本件に関連し、メディア各社向けの記者イベントを今秋に開催を予定しております。

当日は、新会長による今後の方針説明および質疑応答に加え、マスターズ陸上の現状と今後の展望についてご説明する予定です。詳細につきましては、別途ご案内いたします。

■新会長 朝原 宣治（あさはら のぶはる）プロフィール

北京オリンピック 4×100mリレー銀メダリスト

1972 年生まれ。兵庫県立夢野台高校、同志社大学を卒業、同志社大学大学院総合政策科学研究科修了。

1995 年大阪ガス株式会社へ入社。

同志社大学 3 年生の国体 100m で 10 秒 19 の日本記録を樹立。

大阪ガス株式会社に入社後はドイツへ陸上留学。1996 年に初出場したアトランタオリンピックでは 100m、走幅跳、4×100mリレーに出場。100m 準決勝に日本人選手として 28 年ぶりに進出した。オリンピックには 4 回連続、世界選手権には 6 回出場し、100m の日本記録を 3 度更新した。自己最高記録は 10 秒 02。2008 年北京オリンピック 4×100m リレーでは悲願の銀メダルを獲得。

近年は、2018 年世界マスターズ陸上 4×100mリレー(M45)で金メダルを獲得、また 2019 年アジアマスターズ陸上 4×100m リレー(M45)で金メダルおよび世界新記録を樹立。2024 年全日本マスターズ陸上 M50 100m で 10 秒 93 で優勝。

現在は、日本陸上競技連盟の理事を務め、大阪ガスネットワークが運営する「NOBY SPORTS CLUB」の主宰者として次世代育成に力を注ぐなど、地域貢献活動に自身のキャリアを生かし、チャレンジし続けている。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合 事務局

TEL : 03-6263-9911

Email : jma@japan-masters.or.jp